

[6103/5F-431-005]

Ver.17

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F431 麻疹ウイルス抗体 IgM [EIA]

麻疹ウイルス抗体 IgM

[EIA]

measles virus, viral antibody IgM

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6103

001

麻疹IgM[EIA]

検査予約

至急オーダー

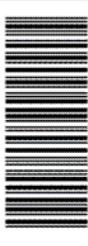
不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト	
注	80 外
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウイルス	
血液	*_*_*_*_*-55032
中検外1	**_*_*_*_*_*
C6	6ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[6103/5F-431-005]

Ver.17

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F431 麻疹ウイルス抗体 IgM [EIA]

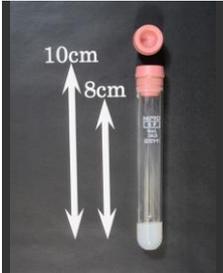
麻疹ウイルス抗体 IgM

[EIA]

measles virus, viral antibody IgM

連絡先 3764

01	C6	凝固促進剤 + 血清分離剤(ピンク)	
採取材料	血液	採取量	6 mL
遠心分離		遠心	
測定材料	血清	測定必要量	0.3 mL



採取容器について

検体採取について

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	冷蔵	4 週				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間 (検体量ある場合のみ)

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器

&nbsp;

[6103/5F-431-005]

Ver.17

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F431 麻疹ウイルス抗体 IgM [EIA]

麻疹ウイルス抗体 IgM

[EIA]

measles virus, viral antibody IgM

連絡先 3764

検査所要日数	2～4日
検査部門・委託先	外部委託 (LSIメディエンス)
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	血液
検査方法	酵素免疫測定法 (EIA)

生物学的基準範囲

	男性	女性	単位
00 index	0.80 未満	0.80 未満	(単位なし)
00 判定	陰性(-)	陰性(-)	(定性・判定)

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

 麻疹ウイルスはヒトの麻疹（はしか:measles）の原因ウイルスである。麻疹ウイルスは患者の咳の飛沫、鼻汁などを介して健康人の気道や鼻粘膜に感染する。ウイルスの潜伏期は約10日である。麻疹に罹患すると微熱、咳、鼻炎、結膜炎、高熱の順で臨床症状が現れる（前駆期）。この期間が数日続いたのち発疹が生じる（発疹期）。発疹期は約5日間続き、回復へと向う（回復期）。特に前駆期の終わりに口腔粘膜にみられるコプリック斑は麻疹に特徴的である。

 临床上麻疹に類似する猩紅熱、風疹、突発性発疹などとの区別が困難な場合、また気管支炎、肺炎、中耳炎などの合併症、さらに麻疹ウイルスによる持続感染症としての麻疹後脳炎、亜急性硬化性全脳炎（SSPE）などが疑われる場合には血清診断が必要である。

 血清学的診断として麻疹の急性期と回復期の血清について種々の方法により麻疹抗体価を測定し、両者の間で有意の値の上昇がみられれば、麻疹罹患を確診する。また、中枢神経系疾患の場合、EIA法IgG捕捉法による髄液中の局所抗体の証明が、また感染初期の血中抗体検査はEIA法IgMが有用であり、ワクチン接種後の抗体チェックには6-8週後にEIA法IgGが用いられる。抗原の検出にはウイルス分離とPCR法を用いた遺伝子解析なども有用である。

[6103/5F-431-005]

Ver.17

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F431 麻疹ウイルス抗体 IgM [EIA]

麻疹ウイルス抗体 IgM

[EIA]

measles virus, viral antibody IgM

連絡先 3764

異常値を示す病態・疾患

麻疹, 亜急性硬化性全脳炎(SSPE), 合併症として気道感染症, 中耳炎, 脳炎, 脳脊髄炎

参考文献

エスアールエル 検査要項

厚生省監修: 微生物検査必携ウイルス・クラミジア・リケッチア検査第3版第1分冊48～61 1987

杉下知子ほか. 麻疹, ムンプス, 風疹患者における血清中の免疫グロブリンクラス別抗体測定の診断上の意

JLAC10

分析物	5F431	麻疹ウイルス
識別	1432	ウイルス抗体-IgM
材料	023	血清
測定法	000	

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2014/01/16	2013/12/06～	検査試薬変更(非特異を軽減した改良試薬)
3	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM)(検査内容の変更点なし)
4	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
5	2017/04/21	2017/03/10～	最低採取量・容器変更([1mL]⇒[3mL])
6	2018/03/28	2018/03/28～	関連検査項目追加
7	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
8	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
9	2020/12/16	2020/12/17～	採血容器変更
10	2021/07/02	2021/07/02～	検体保存条件を変更

[6103/5F-431-005]

Ver.17

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F431 麻疹ウイルス抗体 IgM [EIA]

麻疹ウイルス抗体 IgM

[EIA]

measles virus, viral antibody IgM

連絡先 3764

11	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
12	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
13	2022/03/11	2021/12/15～	結果表記変更（数値と判定とを分離）
14	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
15	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
16	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
17	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定